

優良(建設)工事説明書

工事番号	下複第12号	工事名	新発田北部処理分区(1120他11)管渠工事	
施工場所	富塚町1丁目	請負金額	55,598,400円	
工期	自 平成26年 6月23日 至 平成27年 1月28日			
施工業者	㈱菊地組	代表者	菊地政博	
現場代理人	渋谷雅人	主任(監理)技術者	渋谷雅人	
【工事概要】 施工延長 L=588m 開削工 φ150 L=289.0m 開削工 φ200 L=289.1m 1号マンホール工 8基 小口径マンホール工 6基 公共ます設置工 40箇所	一次下請内容	工種	開削工	
		業者数	3社	
		下請率		
		成績評定点	85点	
表彰対象と評価できる内容(選定理由)	【主任監督員】 ①本工事着手前に、試掘ほか各種照査や現場条件を精査し、流下方向の変更、マンホール配置の変更、及び浅埋提案を行うなどして、段取り良く工事に着手することができた。また、地下水位の高い軟弱地盤にあっては、松杭の設置や簡易井戸ポンプを設置するなど、常に提案と創意工夫をもって安全かつ早期に完工させた。②交通事故防止、道路施設の修理修繕等の地元貢献をはじめ、工事沿線住民への真摯で丁寧な対応は、丁寧に纏められた書類からも伺えた。以上ほか工事の模範とした。			
	【検査員】 工事書類は管理項目別にファイルに分類し、インデックスを利用しており、さらに、一覧表や集計表で内容を整理する等、大変見易い書類の纏め方になっており、検査時に求めた書類も、スムーズに提示できていた。安全管理・工程管理については、良好に行われていた。また、創意工夫にも積極的に取り組んでいた点も評価できる。			
【説明を補足する写真、図面、略図】				
 <p style="text-align: center;">着手前</p>		 <p style="text-align: center;">竣工</p>		
 <p style="text-align: center;">インバート完了</p>		 <p style="text-align: center;">作業帯全景</p>		
 <p style="text-align: center;">松杭設置</p>		 <p style="text-align: center;">簡易井戸ポンプ</p>		

優良(建設)工事説明書

工事番号	下複第10号	工事名	新発田北部処理分区(1162他6)管渠工事
施工場所	富塚町2丁目	請負金額	60,253,200円
工期	自 平成26年 8月18日 至 平成27年 3月 6日		
施工業者	㈱石井組	代表者	石井和郎
現場代理人	湯田忠幸	主任(監理)技術者	湯田忠幸
【工事概要】 施工延長 L=541m 開削工 φ150 L=403.8m 開削工 φ200 L=129.0m 1号マンホール工 5基 小口径マンホール工 7基 公共ます設置工 71箇所	一次下請内容	工種	開削工
		業者数	1社
		下請率	-
		成績評定点	85点

表彰対象と評価できる内容(選定理由)

【主任監督員】
本工事の施工は、家屋が連たんした閑静な住宅街であったが、近隣の下水道工事担当との綿密な工程調整を行い、かつ交通規制や工事に関する情報提供を密に行う等、近隣住民への配慮が適切に行われた結果、苦情も無く、円滑に工事を完了することができた。また、近隣住民への負担軽減を目的に、工事日数を短縮する工夫や、公共ます設置後の復旧方法等、細部に渡り、施工面での創意工夫が見られ、他の模範となるような工事であった。

【検査員】
施工計画書では、管渠布設の過程を、4コマの豆図を配して説明したり、異常気象(大雨、強風、雷鳴、大雪)や地震発生時の対応を、判り易く具体的に記載していたこと。また、過積載予防対策の管理を、文書と並列で参照図を添付し説明していたこと等に、独創性が伺え、たいへん判り易く纏め挙げていた。創意工夫では、土間コン取り壊し時の飛散防止対策(養生板の設置)や、「こどもSOS」の看板設置による保護対策。住民感情に寄り添った「土間コン」の忠実な現況復旧や、公共ます及び取付け管の先行施工による日進量の増大で、作業日数の短縮を図っていたこと等も、評価したい。

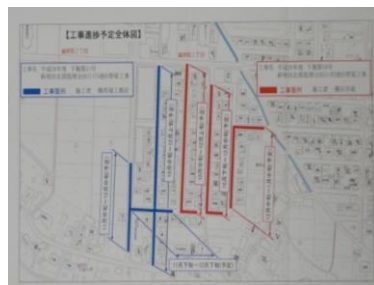
【説明を補足する写真、図面、略図】



近隣下水道工事担当との工程調整



個別訪問、直接手渡しによる交通規制や工事情報の周知



公共ます、取付け管の先行施工による本管日進量の向上



はつり作業時の飛散防止対策



高打撃ランマ使用による締固め作業の効率化



公共ます設置後、左官仕上げ・セメント着色剤塗布により、現況により近い仕上げに復旧した土間コンクリート

優良(建設)工事説明書

工事番号	都街西第1号	工事名	西新発田五十公野線(東豊工区)改良その4工事	
施工場所	東新町4丁目	請負金額	38,480,400円	
工期	自 平成26年10月 7日 至 平成27年 3月10日			
施工業者	㈱石井組	代表者	石井和郎	
現場代理人	横山友一	主任(監理)技術者	横山友一	
【工事概要】 施工延長 L=174.5m 盛土補強工 A=5,719㎡ 側溝工 L=336m 舗装工 A=1,921㎡ 縁石工 L=255m	一次下請内容	工種	道路改良工	
		業者数	1社	
		下請率	—	
		成績評定点	84点	
				—
				—

表彰対象と評価できる内容(選定理由)

【主任監督員】
本工事の施工は、農地区間の道路整備が主なものであり、工事区間内に通行止め区間があったことから、地元の土地改良区及び農家組合との綿密な打合せが必要でした。施工時期が冬季間にかかるため、降雪により、視界不良になり易いことから、一層の安全管理が求められた現場でしたが、日々の安全活動を徹底したことが、無事故に繋がりました。また、施工の工夫により、工事期間の短縮にも努めていました。

【検査員】
施工体制台帳の整理は、マニュアルに沿って行われていたので、たいへん判り易かった。冬期施工を見据えて、道路土工(掘削)から置換工、下層路盤工の2層目までをワンサイクルで仕上げ、繰り返すことで、効率性を高め、掘削面の痛み等を極力無くすことに努めていた。また、関連して、労務計画の平準化が図られ、理想に近い形で推移していた。創意工夫は、側溝工柵部の基礎コンクリートを陸打ちしたことや、縁石工の目地施工にあたり、冬季の天候を勘案し、既製品の目地板を使用したことで、施工性が向上し、施工時間や工期の短縮が図られたこと等も、評価したい。

【説明を補足する写真、図面、略図】



基礎コンクリート：打設状況



基礎コンクリート：打設完了

側溝柵部の基礎コンクリートを陸打設したことで、現場での側溝設置作業がロスなくできました。



目地板(二次製品)



目地板：設置状況

二次製品の目地板を使用したことで、施工性の向上及び施工時間の短縮ができました。



各下請業者の危険予知活動表



バックホウ内緊急時連絡表

現場内の安全掲示板に危険予知活動表を掲示することで、作業員へ安全意識向上の植え付けをしました。

バックホウ内に緊急連絡表を掲示し、緊急時に早急対応ができるようにしました。

優良(建設)工事説明書

工事番号	下豊複第4号	工事名	豊浦北部第4処理分区(194他7)管渠工事
施工場所	大伝	請負金額	76,561,200円
工期	自 平成26年 7月28日 至 平成27年 3月 6日		
施工業者	㈱石井組	代表者	石井和郎
現場代理人	小山健二	主任(監理)技術者	小山健二
【工事概要】 施工延長 L=465m 開削工 φ150 L=201m 開削工 φ200 L=199m 推進工 φ250 L=20.7m φ150 L=27.8m 1号マンホール工 10基 3号マンホール工 1基 小口径マンホール工 10基 公共ます設置工 12箇所	一次下請内容	工種	推進工
		"	立坑工
		"	薬液注入工
		"	開削工
		"	水道管移設工
		業者数	4社
下請率			
成績評定点		84点	
表彰対象と評価できる内容(選定理由)	【主任監督員】 本工事は総合評価(提案型)の案件であり、簡易な施工計画を十分に踏まえた施工が現場で行われていた。また、立坑深が1.0m以上もあることから、特に、転落災害防止のための安全対策を重点的に実施して、無災害で工事を完了させた。さらに、開削区にも、地下埋設物が複雑に存在していたが、作業従事者への意識付けを徹底することで、破損防止に努めていた。工事全般を通じて、他工事の模範となる工事であった。		
	【検査員】 施工体制台帳の整理は、マニュアルどおり、丁寧に纏められており、たいへん判り易かった。計画工程の管理は、日々の管渠布設実績図と週間工程週間出来高(進捗)とをリンクさせるという情報の可視化を意識した管理に努めていたことから、9月15日という極めて早い時点(月の半ば)でフォローアップをかけることができ、11月末の時点では、当初の進捗度に戻すことができた。また、水道管の管理者である水道局との立会(協議)は細かく記録され、丁寧な整理が伺えたこと等も、評価したい。		
【説明を補足する写真、図面、略図】			
【発進立坑深が約11.7mと深いための安全対策】		【松岡川既設護岸矢板根入れ長調査】	
 <p style="text-align: center;">昇降用中間踊り場作成状況</p>			
 <p style="text-align: center;">立坑内安全設備状況</p>			
 <p style="text-align: center;">フルハーネス安全帯を使用している施工</p>			

優良(建設)工事説明書

工事番号	松整線単第1号	工事名	松塚漁港中央防波堤突堤及び波除堤消波工製作工事
施工場所	藤塚浜	請負金額	24,818,400円
工期	自 平成26年 3月26日 至 平成26年 9月30日		
施工業者	(株)小池組	代表者	小池金一
現場代理人	小林善明	主任(監理)技術者	小林善明
【工事概要】 消波工製作 N=190個 仮設工 1式	一次下請内容	工種	クレーン工事
		業者数	1社
		下請率	
		成績評定点	84点

表彰対象と評価できる内容(選定理由)

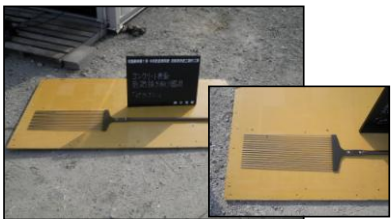
【主任監督員】
消波工の製作では、圧密がかからないために気泡が残りやすく、これを抜くために、バイブレーターを長時間振動させると、材料分離が生じ、粗悪になってしまうことから、バイブレーター並びに気泡抜き取り器具を採用して、仕上がりを良好なものとした。型枠剥離剤を通常使用する油性から植物性に変え、土壤汚染や海洋汚染の防止に貢献していた。また、製作ヤードでは、クレーン作業時間の短縮や徹底した工程管理により、大幅な工期短縮を図って、早期完成に努めていた。

【検査員】
出来形管理は港湾工事共通仕様書に管理規格値を定めていないため、新潟県港湾工事標準仕様書の本体ブロック製作工により社内規格値として「長さ、幅、高さ」について管理を行い、「長さ、高さ」は規格値の50%以内に、「幅」については規格値の80%以内に収まっており、良好に管理されていた。コンクリート打設時に「壁打ちバイブレーター」の活用や「気泡抜き取り器具」で創意工夫を行い、作業も丁寧に行った結果、手直し補修を行ったブロックは見受けられず、出来ばえは良好だった。

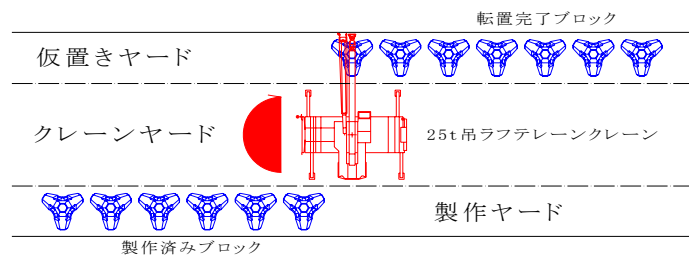
【説明を補足する写真、図面、略図】



仕上がりが良好なブロック



バイブレータだけでなく、スペーシング器も併用して気泡の軽減対策を実施



1スイングで移動することで、吊荷作業時間を短縮し、かつ吊荷の落下、クレーン災害の発生リスクを低減

優良(建設)工事説明書

工事番号	建設第2号	工事名	西新発田駅竹ヶ花線改良工事			
施工場所	富塚町1丁目	請負金額	47,746,800円			
工期	自 平成26年 8月29日 至 平成27年 3月30日					
施工業者	新発田建設(株)	代表者	渡辺明紀			
現場代理人	町田 孝	主任(監理)技術者	埴田忠嗣			
【工事概要】 施工延長 L=845m 路体盛土 V=480m ³ 路床盛土 V=770m ³ 下層路盤 A=1,570m ² 上層路盤 A=1,620m ² 排水構造物(BF-I-400) L=674m 排水構造物(BFB-400) L=849m	一次下請内容	工種	道路改良工			
		"	舗装工			
		業者数	2社			
		下請率				
		成績評定点	84点			
表彰対象と評価できる内容(選定理由)	【主任監督員】 本工事の施工は、田園地帯であることから、地元農家組合との連絡調整が重要であったが、綿密に現場での立会いを行っていた。また、工事区間内で埋蔵文化財の調査が平行して行われることから、調整力のある配置技術者が必要であったが、調査に当たる学芸員と、工程等について綿密に連携を取り合っていた。工事車両は、昨年度に路盤施工済みの区間を通行することや、田圃への砂利飛散防止を図るために、20km走行規制を徹底していた。					
	【検査員】 同一現場で競合して進められた遺跡発掘調査の終了遅れや、早期の降雪による影響、終点部の数量確認調査等の要因が重なり、若干の工期延期はあったが、適正な時期に工程見直しをかけたたり、速やかに測量を入れて「路体盛土」の追加提案を行っていた。また、関係機関との協議を丁寧に行って、適正な施工に努めていた。創意工夫では、埋め戻し及び法面整形作業時における水路内や路盤上への各種養生。管渠基礎コンクリート板の使用。現場事務所内での癒し空間作り等に努めていたこと等も、評価したい。					
【説明を補足する写真、図面、略図】						
						
農家組合との現場立会		埋蔵文化財調査との調整会議				
						
埋蔵文化財調査地の除雪協力作業		ダンプトラックの運転手への安全指導状況				

優良(建設)工事説明書

工事番号	下補第3号	工事名	新発田北部処理分区(1207他5)管渠工事
施工場所	富塚町3丁目	請負金額	77,500,800円
工期	自 平成26年 9月 4日 至 平成27年 3月10日		
施工業者	新発田建設(株)	代表者	渡辺明紀
現場代理人	南部慎吾	主任(監理)技術者	南部慎吾
【工事概要】 施工延長 L=337m 推進工 φ200 L=312.2m 開削工 φ150 L=8.3m 1号マンホール工 9基 公共ます設置工 3箇所	一次下請内容	工種	推進工
		業者数	2社
		下請率	
		成績評定点	84点

表彰対象と評価できる内容(選定理由)

【主任監督員】

本工事箇所は、交通量の多い幹線道路を交通規制して作業する必要があることから、通過車両への注意喚起や安全管理が求められ、また、近隣には営業店舗が数多くあり、作業工程の調整や地元への情報提供も求められる作業環境であったが、事故や苦情も無く工事を完了させることができた。これは工事だけに注意が向くのではなく、近隣住民への配慮を第一に、工事を進めた賜物であり、他の工事の模範となるような対応であった。また、推進中に流木等の支障物に遭遇したにも関わらず、高い推進精度を確保できたことは特筆すべき点である。

【検査員】

竣工書類は管理項目別に分類し、また、詳細にインデックスを利用して、非常に見易く纏められていた。工事は、市の監督員と小まめに打合せを行い、地元調整も良好に行っていた。県道部の開削区間における仮復旧舗装工は、自然転圧による沈下を考慮し、当初より、本復旧規格での舗装復旧を行い、段差発生 の解消に努めていた。

【説明を補足する写真、図面、略図】



高輝度反射シートによる予告看板や、LED大型回転灯を採用し、作業中の交通事故防止のため注意喚起を実施



交通規制により出入りが困難な近隣営業店舗に案内看板と誘導員を配置



推進中に流木が発生し、姿勢制御が困難であったが、高精度で貫通



推進工事のため作業状況が見えないことから、「工事だより」を町内会や近隣住民に配布することで工事情報を発信



降雪時に店舗出入り口や歩道の除排雪を行い、地域に貢献



優良(建設)工事説明書

工事番号	都街西第1号	工事名	西新発田五十公野線(東豊工区)改良工事
施工場所	東新町4丁目他	請負金額	76,086,000円
工期	自 平成25年11月20日 至 平成26年 5月30日		
施工業者	㈱石井組	代表者	石井和郎
現場代理人	横山友一	主任(監理)技術者	横山友一
【工事概要】 施工延長 L=490.2m 盛土補強工 A=579m ² 仮設舗装 A=216m ² ボックスカルバート L=107.5m 集水樹 N=20基 側溝工 L=940m	一次下請内容	工種	道路改良工
		"	舗装工
		"	カルバート工
		業者数	3社
		下請率	-
		成績評定点	83点

表彰対象と評価できる内容(選定理由)

【主任監督員】
 本工事は農地区間の用・排水路整備が主な工事であり、地元の土地改良区及び農家組合との綿密な打合せが必要でした。既設市道にボックスカルバートを布設するための施工方法を提案し、早期に、周辺の自治会及び関係者と綿密に協議をしたことで、交通規制による渋滞の緩和や、徹底した安全管理による無事故に繋がりました。また、施工の創意工夫により、工事期間の短縮にも努めました。

【検査員】
 竣工書類は管理項目別に分類し、また、インデックスを利用した非常に見易い書類の纏め方になっており、検査時に求めた書類もスムーズに提示できていた。安全管理・工程管理を的確に実施しており、特に、監督員や関係機関との綿密な打合せや協議を重ねて、交通量の多い市道部では、安全で通行止めの無い有効な施工方法について、提案を行っていたことは評価できる。

【説明を補足する写真、図面、略図】



マットレス材：加工状況



マットレス材：加工状況



マットレス材：加工完了



マットレス材：敷設状況



マットレス材：敷設完了

基礎材となるマットレス材をあらかじめ加工 ← をすることで、現場での作業がロスなく進めることができました。

工事区間の路面凍結防止のため、融雪剤を散布して一般車両の事故防止に努めた。



融雪剤：使用前



融雪剤：使用后



使用融雪剤

優良(建設)工事説明書

工事番号	下单第8号	工事名	新発田北部処理分区(555-2他17)管渠工事	
施工場所	中曽根町1丁目	請負金額	94,597,200円	
工期	自 平成26年 8月12日 至 平成27年 3月10日			
施工業者	新発田建設(株)	代表者	渡辺明紀	
現場代理人	佐藤克也	主任(監理)技術者	佐藤克也	
【工事概要】 施工延長 L=1,036m 開削工 φ200 L=371m 開削工 φ150 L=648m 1号マンホール工 10基 小口径マンホール工 16基 公共ます設置工 89箇所 取付管推進工 1箇所	一次下請内容	工種	開削工	
		"	舗装切断工	
		"	水替工	
		"	取付管推進工	
		業者数	4社	
		下請率	83点	
		成績評定点	83点	
表彰対象と評価できる内容(選定理由)	【主任監督員】 工事打合せ簿等の提出書類は、案件ごとに遅延することなく、確実に提出していた。また、住宅が密集した地域での施工であったが、沿線住民への工事情報の周知を徹底したことで、苦情もなく工事を完了させた。さらに、品質・出来形・安全管理のすべてにおいて、良好な成果を挙げており、他の模範となるような工事であった。			
	【検査員】 契約関係(注文書、請書)では、2次下請けも含めた全ての工事関係者の情報が整理されており、個々の契約内容を十分に把握して、管理に活かしつつ、施工がなされた様子が、十分に伺えた。また、工程管理では、進捗度を見据え、適正な時期に2班体制から4班体制に段取り替えを行って、工期内の完成に努めていた。創意工夫では、軽便タンパの使用による品質向上や、資材(塩ビ管)保管方法の工夫により品質劣化の防止に努めていたこと。また、バキューム式舗装カッターの使用による環境への配慮や、「子ども110番の家」設置のよる防犯活動への取り組み等も、評価したい。			
【説明を補足する写真、図面、略図】				
 <p style="text-align: center;">着手前</p>		 <p style="text-align: center;">竣工</p>		
 <p style="text-align: center;">管脇埋戻し軽便パイプレータ使用</p>		 <p style="text-align: center;">現場事務所に子ども110番の家を設立</p>		
 <p style="text-align: center;">現在の道路規制状況看板の設置</p>		 <p style="text-align: center;">高圧洗浄車・バキューム車による側溝清掃</p>		

優良(建設)工事説明書

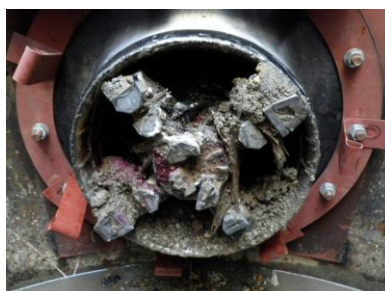
工事番号	下豊複第2号	工事名	豊浦北部第4処理分区(143他5)管渠工事
施工場所	下中ノ目	請負金額	118,249,200円
工期	自 平成26年 7月14日 至 平成27年 3月20日		
施工業者	(株)伊藤組	代表者	伊藤隆雄
現場代理人	小柳 聡	主任(監理)技術者	小柳 聡
【工事概要】 施工延長 L=408m 推進工 φ250 L=220m 開削工 φ150 L=174m 1号マンホール工 N=5基 小型マンホール工(塩ビ) N=11基 公共ます設置工 N=13箇所	一次下請内容	工種	推進工
		"	開削工
		"	給水管移設工
		業者数	3社
		下請率	
		成績評定点	83点

表彰対象と評価できる内容(選定理由)

【主任監督員】
 本工事着手前の各種照査や埋設物調査、試掘工などで現場施工条件を把握するのみならず、過年度の施工実績を参考に、より高精度・高品質な施工が確保できるよう、常に問題意識を持ちながら、的確な改善策を提案・実践して、工事を完了することができた。また、施工中のみならず、供用開始後の維持管理にも配慮した提案をする等、他の模範となるような創意工夫が数多く見られた。さらに、地元町内会行事にも積極的に参加し、地域貢献にも努めていた。

【検査員】
 竣工書類は管理項目別に分類し、また、詳細にインデックスを利用しており、非常に見易く纏められていた。工事は、市の監督員と小まめに打合せを行い、地元との関係も良好に保っていた。内容の充実した16項目に及ぶ創意工夫を実施したことは、大いに評価できる。

【説明を補足する写真、図面、略図】



流木による推進阻害が懸念されることから、泥土圧式推進から泥水式推進へ工法変更
 また、推進路線によっては、砂礫層での土砂過剰取込みを防止するため、開口率の少ない面板を採用



管接合部の可とう性を考慮し、内副管へ変更。
 ※バツフル板の採用とMH防食処理

取付管縦推進箇所耐震支管を採用

間詰めコンで埋戻しされた既設マンホールで
 従来の可とう継手に替えフレキシブル継手を採用



土質や施工条件に考慮し、簡易横推進から
 圧入二工程式推進へ工法変更し河川横断部を施工

開湯100年を記念し、月岡温泉マスコットを
 使用した工事看板を採用

集落内の行事に積極参加

優良(建設)工事説明書

工事番号	下複第11号	工事名	新発田北部処理分区(1175他6)管渠工事
施工場所	富塚町2丁目	請負金額	42,206,400円
工期	自 平成26年 8月18日 至 平成27年 3月 6日		
施工業者	㈱馬場工務店	代表者	馬場 亨
現場代理人	波多野 猛	主任(監理)技術者	波多野 猛
【工事概要】 施工延長 L=408m 開削工 φ150 L=187.3m 開削工 φ200 L=215.1m 1号マンホール工 4基 小口径マンホール工 4基 公共ます設置工 33箇所	一次下請内容	工種	開削工
		業者数	3社
		下請率	
		成績評定点	83点

表彰対象と評価できる内容(選定理由)

【主任監督員】
本工事の施工は、家屋が連たんした閑静な住宅街であったが、近隣の下水道工事担当者の綿密な工程調整を行い、かつ交通規制や工事に関する情報提供を密に行う等、近隣住民への配慮が適切に行われた結果、苦情も無く、円滑に工事を完了することができた。また、路線毎に作成した「進度管理表」を用いた工程管理だけでなく、品質・出来形・安全管理のすべてにおいて、良好な成果が確認できた。竣工図書も、見やすく判り易い整理がなされており、他の模範となるような工事であった。

【検査員】
施工計画書は、下水の仕様を熟知した上で作成されていた。特に、出来形管理計画や品質管理計画では、チェックの様式が表形式で作成されており、現場の施工管理で落ち(漏れ)がないように工夫されていた。また、進度管理図や週間工程表を作成し、工程管理の精度を高めていた。さらに、管渠布設管理表で、日々の実測値を可視化しており、精度の向上、情報の共有化に努めていたこと等も、評価したい。

【説明を補足する写真、図面、略図】



交通規制箇所や工事進行方法を示した案内図で工事情報の周知



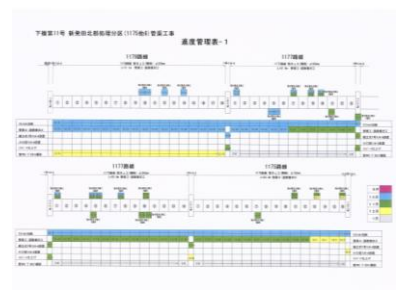
子供が多い地区のため、見やすい案内看板等で注意喚起
降雪時期は除雪し、歩行者の安全な通行を確保



管布設状況



監督員確認による管内カメラ調査



進度管理表を用いた工程管理



バックホウ内に荷姿写真を明示して過積載を防止



健康管理用品を配備し活用



仕上がりのきれいな仮復旧状況

優良(建設)工事説明書

工事番号	集羽複第2号	工事名	農集排羽津管路施設その20工事	
施工場所	下羽津	請負金額	88,981,200円	
工期	自 平成26年 8月 6日 至 平成27年 2月27日			
施工業者	㈱小池組	代表者	小池金一	
現場代理人	小林善明	主任(監理)技術者	小林善明	
【工事概要】 施工延長 L=884.0m 開削工φ150 L=859.6m 1号マンホール工 N=19箇所 塩ビ製小型マンホール工 N=12箇所 1号レジンマンホール工 N=1箇所 2号レジンマンホール工 N=2箇所 小型レジンマンホール工 N=3箇所 公共柵設置工 N=26箇所	一次下請内容	工種	開削工	
		"	立坑築造工	
		"	舗装切断工	
		業者数	4社	
		下請率		
		成績評定点	82点	
		表彰対象と評価できる内容(選定理由)	<p>【主任監督員】 本工事区間では、かつて公共工事が原因で、周辺住民の鑑賞鯉を死滅させた事故があり、工事説明会等で再発防止を強く要求された。本工事では、舗装切断や仮舗装を施工の一部に含むことから、特に油脂類の水路流出を防ぐために、特別な対応が必要であったが、環境対策型油分散洗浄剤を散布することで、油脂類のままの水路流出を阻止した。また、県道部掘削時に、既存横断水路の破損を発見し、緊急の修復に努めたことで、後に、自治会長から厚く感謝される等、地域貢献度の高い工事であった。</p> <p>【検査員】 竣工書類は管理項目別に分類し、また、インデックスを利用していた。さらに、一覧表や集計表で内容を整理する等、大変見易く書類を纏めており、検査時に説明を求めた書類についても、的確に提示して、説明することができていた。安全管理・工程管理については、良好に行われていた。また、創意工夫は17項目を実施しており、積極的に地域貢献や品質の確保に取り組んでいた。</p>	
【説明を補足する写真、図面、略図】				
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>環境対策型 油分散洗浄剤</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>散布状況</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>水路破損状況</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>コンクリート打設による補修完了</p> </div> </div>				

優良(建設)工事説明書

工事番号	公園線第1号	工事名	県立病院跡地公園整備2期工事	
施工場所	大手町4丁目	請負金額	127,720,800円	
工期	自 平成26年 7月30日 至 平成27年 3月10日			
施工業者	新発田建設(株)	代表者	渡辺明紀	
現場代理人	加藤 清	主任(監理)技術者	加藤 清	
【工事概要】 土工 1式 耐震性貯水槽設置工(100m3級) 1基 緊急遮断弁警報装置設置工 1基 仮設工 1式	一次下請内容	工種	土工	
		"	仮設工	
		"	水替工	
		"	鉄筋工	
		"	仮囲い設置工	
		"	貯水槽設置工他	
		業者数	8社	
下請率	82点			
成績評定点		82点		
表彰対象と評価できる内容(選定理由)	<p>【主任監督員】 基礎砕石施工時には、鋼矢板側面からの湧水対策として、坑内端部4辺に暗渠排水管を敷設し、流末箇所を排水ポンプに接続していた。排水時についても、仮水路やフィルターを設置するなど、濁水を環境に配慮しながら処理していた。また、設置する耐震性貯水槽の知識を深めてもらうために、現場説明会を行うなど、地域とのコミュニケーションを積極的に図っていた。</p> <p>【検査員】 竣工書類は管理項目別に分類され、また、インデックスを利用した非常に見易い書類になっていた。周辺住民等に対する騒音・振動対策として、極低音型のA10(オートアイドルストップ)機能搭載バックホウ・環境対応型圧入機による鋼矢板圧入機を使用していたこと。また、底版工の鉄筋の溶接には、確実に鋼矢板に密着しかつ、溶接長を確保するために、溶接筋の加工をし字型にする等、品質(引張強度)の精度向上を図っていたことも、評価したい。</p>			

【説明を補足する写真、図面、略図】



湧水対策



工程会議



濁水対策



濁水対策

優良(建設)工事説明書

工事番号	下複第9号	工事名	新発田北部処理分区(1167他1)管渠工事
施工場所	富塚町2丁目	請負金額	15,357,600円
工期	自 平成26年 6月13日 至 平成26年10月20日		
施工業者	(株)中村組	代表者	中村俊一
現場代理人	若月茂雄	主任(監理)技術者	若月茂雄
【工事概要】 施工延長 L=117m 開削工 φ200 L=114.6m 1号マンホール工 2基 小口径マンホール工 1基 公共ます設置工 10箇所	一次下請内容	工種	開削工
		業者数	1社
		下請率	
		成績評定点	82点

表彰対象と評価できる内容(選定理由)

【主任監督員】

本工事は、家屋が連たんした住宅街において、公共下水道の面的整備を行う管渠工事である。住民との説明、打ち合わせを小まめに行うとともに、湧水等現場条件についての変更対応も早く、円滑な工事進捗に努めた結果、工期内に竣工検査が行えた。また、第三者だけでなく、作業員に対しても安全衛生管理を徹底して、事故もなく施工を完了させた。出来形や品質に関しても、適正に管理されており、全般的に出来ばえも良好であった。

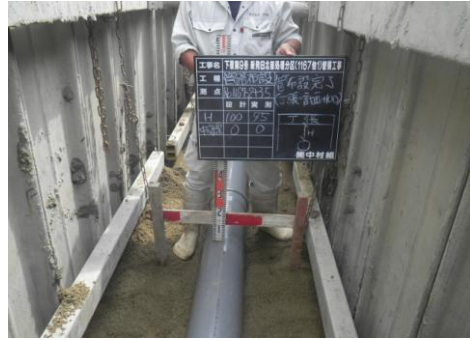
【検査員】

竣工書類は管理項目別に分類し、また、インデックスを利用した見易い書類の纏め方になっており、内容も丁寧に纏められている。検査時に求めた書類もスムーズに提示できていた。現場には地下水や湧水の発生箇所があったが、埋戻し・転圧を丁寧に実施していることが、施工中の写真から窺い知ることができ、完了時に沈下等も確認できなかった。地元調整を良好に行った為、苦情もなかった。また、工程管理を綿密に行った結果、現場は竣工期限の1ヵ月前前に完了していた。

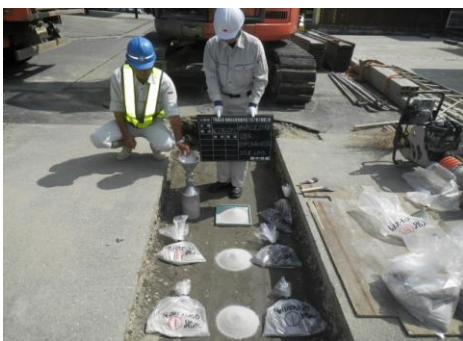
【説明を補足する写真、図面、略図】



掘削完了状況



管布設状況



現場密度試験状況



店舗の休日に合わせて工事を実施



熱中症対策としてミスト扇風機を設置



交通事故防止のための道路標示復旧

優良(建設)工事説明書

工事番号	集羽複第4号	工事名	農集排羽津管路施設その17工事	
施工場所	虎丸	請負金額	54,583,200円	
工期	自 平成26年10月23日 至 平成27年 3月10日			
施工業者	㈱新潟グリーンテック	代表者	石井政一郎	
現場代理人	相馬正幸	主任(監理)技術者	相馬正幸	
【工事概要】 施工延長 L=484.8m 開削工 φ150 L=448.1m 推進工 φ150 L=18.25m 1号マンホール工 N=13箇所 小口径マンホール工 N=8箇所 公共樹設置工 N=8箇所	一次下請内容	工種	推進工	
		"	開削工	
		"	舗装切断工	
		業者数	3社	
		下請率		
		成績評定点	82点	
		表彰対象と評価できる内容(選定理由)	【主任監督員】 工程条件が厳しい工事であったが、施工に先立って、埋設物調査や現場条件の整理・分析を着実に実施して、工法変更や法線見直しの提案を行うなど、より良い施工を目指そうという意識が感じられた。冬期間の施工における安全管理も適切であり、地元住民や周辺環境への配慮も伺えた。また、竣工書類についても、対外関係の交渉記録を詳細に記すなど、分かりやすく纏められていた。 【検査員】 竣工書類は管理項目別に分類し、また、詳細にインデックスを利用しており、非常に見易く纏められていた。検査時に求めた書類もスムーズに提示できており、内容をしっかり把握していることが伺えた。安全管理・工程管理についても、良好に取り組んでいた。創意工夫については11項目を実施して、地域に貢献すると共に、地元調整も良好に行っていた。	

【説明を補足する写真、図面、略図】



埋設物の試掘調査・土質確認



法線見直しによるコミュニティバスの通行確保



降雪時における路面凍結防止剤散布



除雪等による堆積土砂の浚渫

優良(建設)工事説明書

工事番号	雨補線第1号	工事名	新井田川1号雨水幹線整備その2工事
施工場所	中央町4、5丁目	請負金額	47,239,200円
工期	自 平成26年 4月14日 至 平成26年10月20日		
施工業者	(株)伊藤組	代表者	伊藤隆雄
現場代理人	榎本豊四	主任(監理)技術者	榎本豊四
【工事概要】 施工延長 L=42.0m ボックスカルバート 1100×1000 L=40.1m 分水水槽工 1基 仮設立抗 1箇所	一次下請内容	工種	土工
		"	鋼矢板圧入工
		"	薬液注入工
		"	舗装工
		"	緊張・グラウト工
		"	設備工他
		業者数	8社
下請率			
成績評定点		81点	

表彰対象と評価できる内容(選定理由)

【主任監督員】
市街地における、終日車両通行止めでの施工だったが、地元周知を徹底して行ったことから、苦情もほとんどなかった。また、歩行者にも事前に、通行規制等の情報について、掲示物にて周知を行った。施工においても、事故防止対策として、開削工事期間を短縮する等の創意工夫を行っていた。

【検査員】
市役所周辺の交通量の多い市道を、長期間に渡って、通行止めして行う工事であったが、歩行者には仮設の歩道を確保する等して、地域住民の生活に支障が生じないように配慮していた。また、地域住民に向けた掲示板に、交通規制の予告や工事内容を示すことで、地域住民とのコミュニケーションを図っていた。さらに、工事区間内の空間に、プランターを設置する等して、現場環境の美化に気を配っていた。

【説明を補足する写真、図面、略図】



分水柵工
現場打ち分水柵を工場製作し、工期の短縮を図る。



歩行者への工程通知
工事内容により、歩行者も通行止めとなる期間があるので、週間工程表を掲示することで、通行規制期間の周知を図った。



作業開始前の通学時間帯から、歩行者を誘導し、現場内での事故防止に努めた。



狭隘な作業スペースでの施工であったが、工事完了まで徹底した安全管理を行った。

優良(建設)工事説明書

工事番号	自災第1号	工事名	新発田川雨水幹線整備工事
施工場所	豊町1丁目	請負金額	23,328,000円
工期	自 平成26年 1月 6日 至 平成26年 6月 2日		
施工業者	秀和建设(株)	代表者	犬井秀和
現場代理人	高松正樹	主任(監理)技術者	高松正樹
【工事概要】 施工延長 L=30m 大型排水フリューム(B1,500型) (H900) L=6.8m (H1,300) L=5.0m PCボックスカルバート (B1,500×H1,200) L=14.2m 集水桝(2,000×2,000×1,900) N=1基	一次下請内容	工種	仮設土留工
		"	BOX緊張工
		業者数	2社
		下請率	
		成績評定点	81点
		表彰対象と評価できる内容(選定理由)	【主任監督員】 ・容易な作業環境ではない中、安全管理を徹底して行って、事故防止に努めていた。 ・地元コミュニティ活動への積極的な参加により、住民との良好な関係を築いていた。 【検査員】 施工体系図や建設業許可証等の現場掲示物は、工期の延長も含め、都度、適正に内容を更新して、最新の情報提供に努めていた。また、ボックスカルバートの重要な縦締め(80KN)確認や、グラウトの計量確認を行うとともに、出来形測定の写真整理や整理表の作成、品質管理の管理値をグラフ化する等の工夫が何れも、より適正な管理に努めていた。創意工夫では、施工箇所付近の個人宅に、仮設階段、夜間照明の設置を行って、不便の解消に努めていたこと。工事看板の設置場所が限られ、車両からの見通しを遮ることに事故が懸念されたことで、アクリル看板を使用して、安全管理に寄与したこと等も、評価したい。
【説明を補足する写真、図面、略図】			
			
近接する家屋及び、架空線により作業が困難であったが、事故防止に努めた。			
			
ボランティア活動等を通じて、地元自治会と良好な関係を築いた。			

優良(建設)工事説明書

工事番号	公園第1号	工事名	県立病院跡地公園整備3期工事	
施工場所	大手町4丁目	請負金額	38,836,800円	
工期	自 平成26年10月17日 至 平成27年 3月10日			
施工業者	㈱中村組	代表者	中村俊一	
現場代理人	若月 誠	主任(監理)技術者	若月 誠	
【工事概要】 土工 1式 緊急災害トイレ(ボックスカルバート1200×800) 設置工 L=76.6m 下水道施設取付管路工(φ200) L=12.7m 組立1号マンホール工 N=3基	一次下請内容	工種	下水道施設工	
		"	BOX緊張工	
		業者数	2社	
		下請率	80点	
		成績評定点	80点	
		表彰対象と評価できる内容(選定理由)		
<p>【主任監督員】 基礎コンクリートにメッシュ筋を入れ、ひび割れの防止や、コンクリートの強度向上に努め、躯体との一体化を図っていた。また、植栽の近くで重機を使用する際には、排気ガスで樹木を傷めない様、シートで養生する等、周辺環境への配慮が伺えた。さらに、施工箇所は発掘調査等、複数の関連工事との調整が求められたが、工期に遅れることなく、工事を完了することができた。</p> <p>【検査員】 工事内容を熟知した施工が現場で行われていた。特に品質管理では、基礎コンクリートの強度試験、塩化物測定、PCカルバートの緊張管理、グラウト計画・強度試験を実施し整理しており、ポイントを見据えた適正な管理が数値から伺えた。創意工夫では、埋設管破損事故防止を目的に、作業員全員参加のもと、位置確認を現地で説明し、情報の共有化を図ったこと。作業効率が悪い、狭いカルバート内の目地作業に、揮発性の強いシーリング材を使用するため、送風機を使用して作業員の健康管理に努めていたこと等も、評価したい。</p>				
【説明を補足する写真、図面、略図】				
				
メッシュ筋設置		PCカルバート工(止水性コーキング材の施工)		
				
樹木の保護		工程会議		

優良(建設)工事説明書

工事番号	下効第1号	工事名	新発田北部処理分区(1108他1)管渠工事
施工場所	舟入町3丁目	請負金額	16,664,400円
工期	自 平成26年 8月 7日 至 平成26年12月29日		
施工業者	㈲今田工業所	代表者	今田信男
現場代理人	今田尚宏	主任(監理)技術者	今田尚宏
【工事概要】 施工延長 L=151m 開削工φ150 L=149m 1号マンホール工 1基 小口径マンホール工 2基 公共ます設置工 4箇所 (取付管布設 5箇所 内1箇所 取付管推進)	一次下請内容	工種	開削工
		//	取付管推進工
		業者数	2社
		下請率	-
		成績評定点	80点

表彰対象と評価できる内容(選定理由)

【主任監督員】

工事箇所は商業地域での下水道工事であり、商業店舗来客者の交通誘導に、特に配慮した施工を行った。関係店舗の責任者に、日々の工事場所・案内看板の設置・誘導員の配置等を事前に説明し、来客者の混乱を招かないようにした。また、施工管理に関しても、品質・出来形ともに良好であり、他工事の模範となった。

【検査員】

竣工書類は管理項目別に分類し、また、インデックスを色分けして、見易く書類を纏めており、検査時に説明を求めた書類についても、的確に提示して、説明することができていた。現場は、事前の地元調整を綿密に行っており、苦情もなかった。また、工程管理を良好に行って、早期に完了していた。仮復旧は、全体的に、表面の仕上がりや構造物への擦り付けが良好であり、美観に優れていた。

【説明を補足する写真、図面、略図】



営業店舗前(駐車場出入口)の開削工事



歩行者(来客)の場内誘導員配置



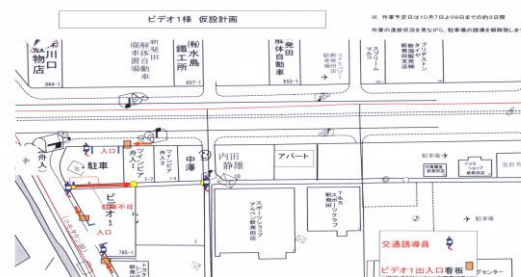
県道部駐車場出入口(ビデオ1)の案内表



県道部駐車場出入口(ビデオ1)の案内表



国道部駐車場出入口(ビデオ1)の案内表示



作業計画書に基づき開削施工の実施

優良(建設)工事説明書

工事番号	特紫複第3号	工事名	紫雲寺本町処理分区(382他13)管渠工事	
施工場所	米子他	請負金額	30,477,600円	
工期	自 平成26年 8月18日 至 平成27年 2月13日			
施工業者	㈱加藤組	代表者	加藤正人	
現場代理人	西澤 治	主任(監理)技術者	西澤 治	
【工事概要】 施工延長 L=533m 開削工 φ150 L=523.1m 1号マンホール工 7基 小口径マンホール工 9基 公共ます設置工 23箇所	一次下請内容	工種	開削工	
		//	舗装切断工	
		業者数	2社	
		下請率		
		成績評定点	80点	
		【主任監督員】 同一路線において、他工事と施工時期の調整が必要であったが、限られた工程条件を踏まえ、綿密な計画に基づいた工程管理と、適切な安全管理により、事故なく工事を完了させた。また、転用土に関する品質面の工夫や、地域住民への配慮という点においても、積極的な取り組みが伺えた。		
表彰対象と評価できる内容(選定理由)	【検査員】 施工中写真は、写真撮影箇所を平面図で案内し、確認箇所の略図や拡大写真がこまめに添えられて、撮影目的や出来形確認が一目でわかる様に仕上げられており、丁寧な整理が伺えた。また、渠底基準高の出来形管理図表に、路線表示がされており、管理、表記漏れのチェックが容易にできる様、独自の工夫がされていた。創意工夫では、管材保管棚の設置に当たり、単管パイプに、さらにゴム目地板を緩衝材として使用して、管材の品質保持に努めていたこと。仮復旧の拡幅で、側溝脇の段差解消を図り、路面の改善に努めていたこと等も、評価したい。			

【説明を補足する写真、図面、略図】



関連他工事との現場打合せ



仮置場における転用土の分別管理



施工時の植栽養生



集落内道路の清掃

優良(建設)工事説明書

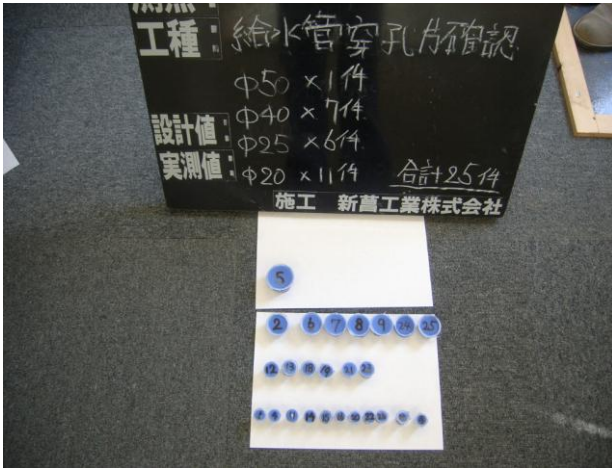
工事番号	改紫第1号	工事名	配水管入替工事
施工場所	米子他	請負金額	42,724,800円
工期	自 平成26年 6月17日 至 平成26年12月19日		
施工業者	新葦工業(株)	代表者	荒井英之
現場代理人	居城卓也	主任(監理)技術者	居城卓也
【工事概要】 配水管入替工事 ①PEP φ150L=488.7m ②PEP φ150 L=4.2m①PEP φ75 L=6.5m ②PEP φ75 L=9.3m消火栓接続工事 N=4箇所 給水管改造工事 φ50・1件 φ40・7件 φ25・6件 φ20・11件 廃止管セメントベントナイト注入 φ150 L=417.0m φ125 L=73.0m 試掘工 N=3箇所	一次下請内容	工種	配水管入替工
		"	消火栓接続工
		"	給水管改造工
		"	廃止管CB注入工
		"	舗装復旧工
		"	舗装切断工
		業者数	5社
下請率			
成績評定点	80点		

表彰対象と評価できる内容(選定理由)

【主任監督員】
 ・給水管取り出し工事において、口径間違い等が無い様に、チェックシートを活用して、施工不良の防止に努めていた。
 ・猛暑期の施工における作業員の熱中症防止のため、作業環境の整備、向上に努めていた。

【検査員】
 本管からの給水取り出し工事を施工するにあたり、穿孔忘れがおきない様、穿孔クズに番号を付けたり、ビニール管接続時の接着剤を着色性にし、接続面が均一かつ、むら無く塗布されているか確認できる様な創意工夫を行っていた。また、インターンシップを受け入れる等、社会貢献にも力を入れていたこと。さらに、社内検査は竣工時の書類や、現場での出来形検査の他、中間出来形検査を3回行って、品質向上に努めていたこと等も、評価したい。

【説明を補足する写真、図面、略図】



穿孔片の口径・数量の確認

工事名: 改紫第1号 配水管入替工事	測点: 給水管(9)		
施工日: 平成26年8月21日(木)	給水管取出口径: PEP φ150 mm		
本管管径(口径): PEP φ150 mm	給水管取出口径: PEP φ150 mm		
番号	確認項目	確認	判定
(1)	取出口径は設計値と合致しているか	○	○
(2)	取付部本管に歪みがないか	○	○
(3)	サドル取付箇所の潤滑はよいか	○	○
(4)	トルクレンチによる締めを行ったか	○	○
(5)	サドル分水栓部の開閉は確認したか	○	○
(6)	配管継手部に緩みはないか	○	○
(7)	耐久試験は実施したか(本管と同時に打つ場合は未記入)	○	○
(8)	穿孔片は確認したか	○	○
(9)	閉止キャップは確実に閉めたか	○	○
(10)	ローチェンクワイヤーを取り付けたか	○	○
(11)	ポリエチレンスリーブを取り付けたか	○	○
施工状況写真の添付			
別紙写真添付			
施工会社	新葦工業(株)	配管工氏名	廣田 大悟
			孔検確認済

チェックシートの活用



熱中症緊急対応セット配置



エアコン・ウォーターサーバー設置